

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

## 凡　例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30  
土器実測図 1:4 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 錢 1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高と同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

搅乱		地山（ローム）		焼土	
土器	●	石器★		黒曜石・チャート▲	
					礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文		撚糸文	
------	--	-----	--

(5) 土器断面図は、「網目」が纖維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(m <sup>2</sup> )	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196, 197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4, 10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禪寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禪寺遺跡第25地点	苗間339-1, 2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禪寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5, 11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

## XVII 浄禪寺跡遺跡の調査

### 1 遺跡の立地と環境

浄禪寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禪寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12~14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禪寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を浄禪寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は早々に市街化が進み、残された畠地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2005年3月現在26地点で試掘調査及び発掘調査が行なわれ、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禪寺墓域から土壙墓157基、1字1石経約76,000点が出土している。旧苗間村の浄禪寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失していらい再建されていない。

### 2 浄禪寺跡遺跡第22地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2002年3月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年4月23日から同年5月14日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果ピットを検出したが、調査地の大半は従前建築物(銀行)の基礎で搅乱されていた。確認面まで40~50cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

#### (2) 遺構

第32表 浄禪寺跡遺跡第22地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不整形	55 × 38	17 × 5	63	
2	円形	51 × 46	18 × 15	70	
3	隅丸方形	40 × 35	17 × 15	54	
4	楕円形	42 × 36	17 × 14	57	



第73図 浄禪寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

### 3 浄禪寺跡遺跡第23地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年4月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年4月28日に行なった。幅約50cmのトレーナー1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果溝とピットを検出したが、確認面まで75cmを測り、建築による遺構への影響がないため盛土保存とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

## (2) 遺構

【溝】上幅65cm、下幅32cm、深さ20cm。

第33表 浄禪寺跡遺跡第23地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面		底面		深さ	備考
1	隅丸方形	25	×	22	15	×	12
2	隅丸方形	22	×	22	8	×	6

#### 4 浄禪寺跡遺跡第24地点

### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年7月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年8月30日から翌31日に行なった。幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで100cmを測る。写真撮影・全側図作成等記録保存を行ない埋め戻し調査を終了した。

## 5 浄禪寺跡遺跡第25地点

### (1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2004年9月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年9月22日から同年10月12日まで行なつ

た。幅約1.5mのトレーナー3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果ピットを検出したが、確認面まで200cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない埋め戻して調査を終了した。

## (2) 遺構

第34表 浄禪寺跡遺跡第25地点ピット一覧表 (単位cm)

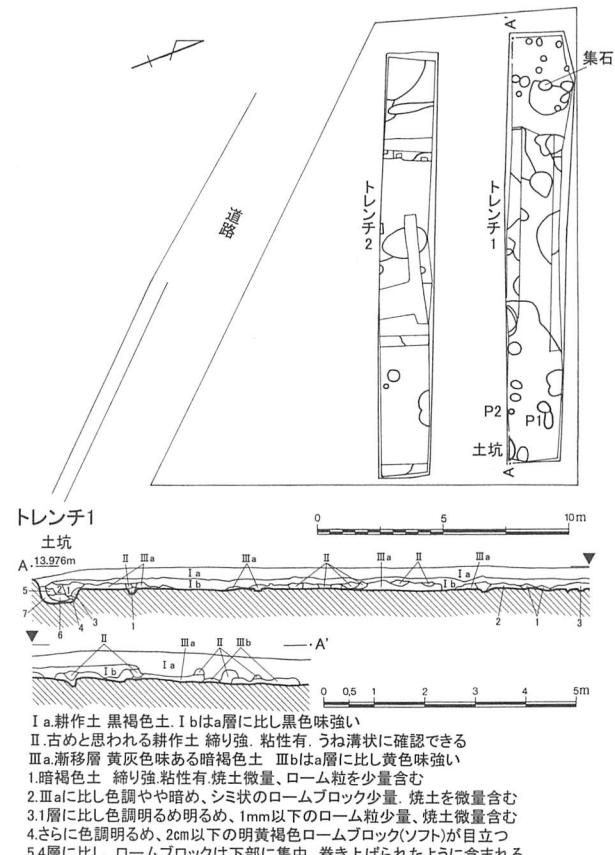
Na	平面形態	確認面		底面		深さ	備考
1	瓢箪形	45	×	32	40	×	25
2	隅丸方形	35	×	32	28	×	25

## 6 浄禪寺跡遺跡第26地点

### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2005年2月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に位置するため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2005年3月3日から同年3月8日まで行なった。幅約2mのトレーナー2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果縄文時代の住居跡、土坑、ピット多数を検出した。確認面まで50cmを測る。本調査が必要なため再度原因者と協議した結果、開発を取りやめる事となったので、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない埋め戻して調査を終了した。



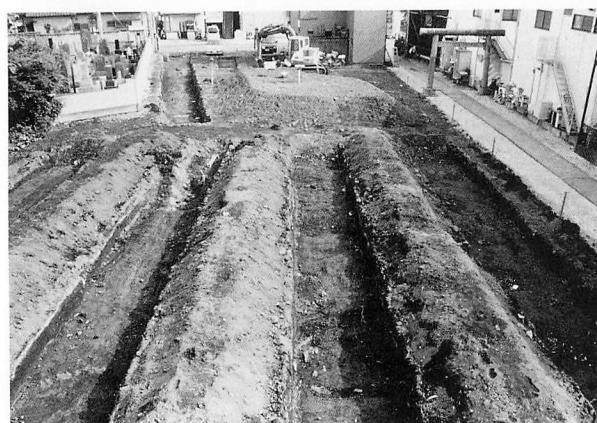
第76図 済禅寺跡遺跡第26地占遺構配置図(1/300) 土層(1/150)



苗間東久保遺跡第23地点試掘調査



苗間東久保遺跡第23地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第22地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第22地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第23地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第24地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第25地点試掘調査



淨禪寺跡遺跡第26地点試掘調査

菊口繁子、木下一郎、小林こずい、西城満期子、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木勝弘、関田成美、関向晶子、高貝しづ子、田村雪江、滝沢久嘉、寺井美和子、中山美穂、中村正、沼澤岩男、根岸年男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、星野辰子、増沢勝実、宮崎達夫、山崎美紀、吉田寛、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、島田仁、鈴木美恵子、清水淳、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、中川和弘、成田淑美、羽田美代子、吉田信江、瀬戸加代子

〈整理作業参加者〉(敬称略) 青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤綾那、臼井孝、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子、山口妙子

## 凡　例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30  
土器実測図 1:4 土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4、2:3 銭 1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

搅乱		地山（ローム）		焼土			
土器	●	石器	★	黒曜石・チャート	▲	礫	○

(4) 土器断面図は、「網目」が纖維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5) 遺物実測図における screen-tone の指示。

塗彩		煤		煤（タール状）	
----	--	---	--	---------	--

(6) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したこと示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

埼玉県ふじみ野市「市内遺跡群 3」正誤表

以下のとおりの誤記がありました。お手数ですが訂正をお願いいたします。

	誤	正
IV 頁 2 段落 27 行目	II 東中学校西遺跡	II 東久保西遺跡
IV 頁 2 段落 28 行目	III 東中学校西遺跡	III 東久保西遺跡
1 頁 2 段落 18 行目	<u>60,976 m<sup>2</sup></u>	<u>59,934 m<sup>2</sup></u>
1 頁 第 1 表 2006(平成 18) 年度開発面積	<u>60,976 m<sup>2</sup></u>	<u>59,934 m<sup>2</sup></u>
3 頁 第 2 表 合計	<u>43,585 m<sup>2</sup></u>	<u>59,934 m<sup>2</sup></u>
239 頁 1 段落 5 行目	<u>60,976 m<sup>2</sup></u>	<u>59,934 m<sup>2</sup></u>

2 頁 第 2 表

正

8	長宮遺跡 26 地点	中丸 <u>2</u> 丁目 <u>5</u> 番地 <u>2</u>	24	119	個人住宅建設	2007/3/28		縄文遺構遺物検出
---	------------	-------------------------------------	----	-----	--------	-----------	--	----------

誤

8	長宮遺跡 26 地点	中丸 <u>1</u> 丁目 <u>4</u> 番地 <u>8</u>	24	1,161	個人住宅建設	2007/2/15~16		縄文遺構遺物検出
---	------------	-------------------------------------	----	-------	--------	--------------	--	----------

	遺跡・地点名	申請地住所	調査面積 (m <sup>2</sup> )	開発面積 (m <sup>2</sup> )	原因	試掘期間	調査期間	備考
39	神明後遺跡29地点	苗間神明後303-21,24	52	136	個人住宅建設	2006/5/8~11	2006 / 5 / 12~19	縄文遺物、古代~中世溝検出
40	神明後遺跡30地点	苗間神明後303-1	60	101	個人住宅建設	2006/5/8~19	2006 / 12 / 14~19	縄文遺物遺構/近世柱穴検出
41	淨禪寺跡遺跡26地点	苗間神明後354-23	112	112	個人住宅建設	試掘調査済み(2005.3)	2006 / 4 / 17~28	縄文遺構遺物検出
42	淨禪寺跡遺跡26地点	苗間神明後354-24	114	114	個人住宅建設	試掘調査済み(2005.3)	2006 / 6 / 7 ~15	縄文遺構遺物検出
43	淨禪寺跡遺跡28地点	苗間字東久保719-7,720-1	22	2,478	園舎改築工事	2007/1/23		溝検出
44	大井宿遺跡12地点	大井1丁目6-22	110	2,664	事務所兼店舗及び工場建設	2006 / 6 / 13 ~16		近世遺構検出
45	大井宿遺跡13地点	大井1-3-32	60	151	個人住宅建設	2006/8/21	2006 / 8 / 22~24	近世遺構遺物検出
46	大井宿遺跡14地点	大井1丁目2-19,2-20	112	944	コンテナボックス設置	2007 / 3 / 27 ~29		近世遺構検出
47	大井氏館跡遺跡21地点	大井1丁目7-15	22	174	個人住宅建設	2006/5/22		遺構遺物なし
48	本村遺跡117地点	大井2-11-4,6の一部	1,582	1,582	店舗建設	2006 / 3 / 22 ~4/14		中世遺構遺物検出
49	本村遺跡118地点	市沢2丁目12番13	80	257	個人住宅建設	2006 / 5 / 24 ~25	2006 / 5 / 25	縄文遺構検出
50	大井戸上遺跡5地点	大井字東台739番14	10	326	個人住宅建設	2006/7/10		遺構遺物なし
51	東台遺跡45地点	大井字東台710-1,711-1,717-1.2	7,971	17,391	小学校建設	2006 / 5 / 31 ~9/1	2006/9/8 ~2007/3 /7	旧石器石器群、縄文遺構遺物検出
52	東台遺跡46地点	大井字東台626-11	80	100	宅地造成	2006/9/4 ~6	2006 / 9 / 15~28	縄文住居跡2軒検出
53	東台遺跡47地点	大井字東台602番4,602番5	80	320	個人住宅建設	2006 / 9 / 19 ~20		遺構遺物なし
54	東台遺跡48地点	大井字東台649-21	25	60	個人住宅建設	2007 / 1 / 16 ~26		縄文住居跡3軒検出
合計			21,727	43,585				

第3表 2006(平成18)年度立会い調査一覧表

	遺跡名	申請地住所	開発面積	原因	立会日	再開発時の対応	
1	北野遺跡	北野2丁目2119番2.4の各一部	217	鉄骨2階建て長屋建設	2007.1.24		
2	北野遺跡	北野2丁目2119番2.4の各一部..3,5	221	専用住宅2階建て	2007.1.24		
3	北野遺跡	北野1丁目3115-8	51	専用住宅(木造3階建)建設	2007.2.7		遺構遺物なし
4		大井武蔵野1273-1	7,398	ターミナル倉庫	2006.9.20		
5	鶴ヶ岡外	亀久保字大野原1644-10	119	専用住宅(2階建て)	2006.9.14		
6		鶴ヶ岡2丁目27-4	1,145	共同住宅	2006.6.6		
7		大井武蔵野406-2,3	2,300	店舗	2006.10.25		
8		新田2丁目423-3,424-1,425の一部,428の一部	273	専用住宅(2階建て)建設	2006.4.19		盛土保存
9	西ノ原遺跡98地点	苗間1丁目13-13	206	個人住宅建設	2007.3.9		
10	北野遺跡	北野2-1788-1	158	専用木造住宅(3階建)建設2棟			盛土保存
合計			11,818				

## 第19章 浄禪寺跡遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

浄禪寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禪寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12~14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禪寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を浄禪寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は早々に市街化が進み、残された畠地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

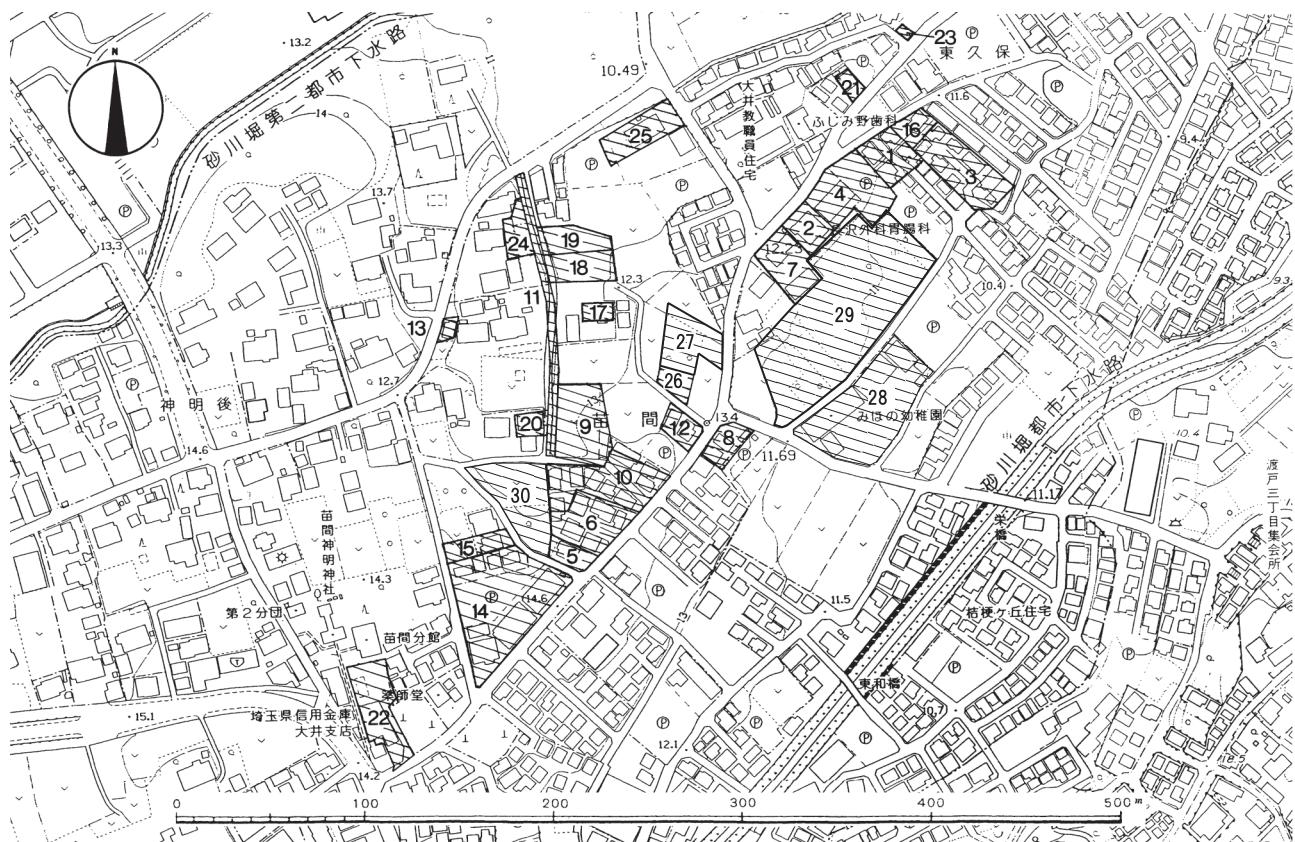
2008年2月現在30ヶ所で試掘調査及び発掘調査が行なわれ、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禪寺墓域から土壙墓157基、1字1石経約76,000点が出土している。旧苗間村の浄禪寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失していらい再建されていない。

### II 浄禪寺跡遺跡第26地点

#### (1) 調査の概要

調査地は以前分譲住宅建設として2005年2月23日付で申請され、2005年3月に試掘調査済であるが、開発行為の変更があり、今回個人住宅建設として新たに2007年4月10日付で1件(A区)、同年6月7日付で1件(B区)、計2件の原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。

本調査はA区を2007年4月17日から同年4月28日まで、B区を2007年6月7日から同年6月15日まで行なった。重機で表土除去後、人力による調査を行なった。調査の結果、縄文時代の炉穴10基、土坑8基、ピット21基、近世の溝1状を検出した。旧石器時代の調査は行っていない。写真撮影・全測図等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。



第61図 浄禪寺跡遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第30表　淨禪寺跡遺跡調査一覧表

地點	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間東久保579	1979.4.3~4.21	605	共同住宅	苗間東久保1地点として報告済み 炉穴10、土坑14、縄文早期後半・中期	東部遺跡群 I
2	苗間東久保573	1982.4.1~4.3	396	共同住宅	苗間東久保7地点として報告済み 遺構なし、磨耗縄文土器	東部遺跡群 III
3	苗間東久保581	1984.7.20~7.21	320	共同住宅	苗間東久保12地点を淨禪寺3地点とする 遺構なし、縄文中期末	未報告
4	苗間神明後346-1	1989.11.15~11.25	150	開発予定地	炉穴10、土坑7、ピット14、 縄文早期後半・前・中期	東部遺跡群 X
5	苗間374-9	1991.8.28~9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中期土器片	町内遺跡群 I
6	苗間358-1	1991.9.21~12.26	826	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 I
7	苗間東久保573-4	1992.10.20~11.20	831	共同住宅	炉穴8、井戸3、堀3、縄文草~中期	調査会報告5集
8	苗間357-1	(1994.9.20~9.27)	615	宅地分譲	落し穴、根切溝	町内遺跡群 IV
9	苗間353	(1994.10.18)	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	町内遺跡群 IV
10	苗間356-1	1994.10.31~11.2	999	宅地分譲	近世土壙墓、一石經埋納土坑、 六道錢、江戸中後期	調査会報告12集
11	苗間352-1 他	(1995.1.9~2.3)	572	道路	湧水口	町内遺跡群 IV
12	苗間35-95	1995.9.25~10.21	140	個人住宅	屋外炉、遺物集中3、ピット16、溝5、 縄文中期土器、磁器	町内遺跡群 V
13	苗間314-2	(1996.1.8~1.29)	101	個人住宅	土坑13、ピット11、井戸1、溝2、 縄文早~後期、陶磁器	町内遺跡群 V
14	苗間360-1, 362-2	(1996.6.3~6.12) 1996.6.18~7.11	2,178	個人住宅	礫群3、落し穴1、溝4、ピット251、 旧石器、縄文土器、陶磁器片	町内遺跡群 VI
15	苗間362-4・5	(1996.6.3~6.12) 1996.7.12~8.2	494	分譲住宅	炉穴 7	町内遺跡群 VI
16	苗間579-1	1997.11.10~12.19	291	個人住宅	縄文住居1、炉穴14、ピット61、土坑16、溝4、縄 文早期後半・前期・中期	町内遺跡群 VII
17	苗間345-2・10	(1998.9.29~10.2)	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半・中期後半	町内遺跡群 VIII
18	苗間345-3・4	(1999.5.26~6.24) 1999.6.26~8.3	599	個人住宅	炉穴8、集石土坑3、土坑13、ピット27、溝 縄文後期土器、土師器	町内遺跡群 IX
19	苗間神明後345-4	1999.8~9	703	分譲住宅	炉穴1、集石2、焼土痕4、土坑22、井戸2、溝8、掘 立5、縄文早~晚期土器、石器、中近世陶磁器、 板碑	調査会報告15集
20	苗間神明後351-1	(2001.10.26~10.29)	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内遺跡群 X I
21	苗間東久保591-3, 592-7	(2001.11.19~11.20)	182	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 X I
22	苗間373-5・8, 377-5・3・4	(2002.4.23~5.14)	935	分譲住宅	土坑1、ピット4、溝、遺物なし	町内遺跡群 X II
23	苗間592-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ピット2、溝、遺物なし	町内遺跡群 X II
24	苗間神明後346-1・2の一部	(2004.8.30~8.31)	391	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 X II
25	苗間339-1・2	(2004.9.22~10.12)	721	共同住宅	ピット2	町内遺跡群 X II
26	苗間神明後354-2の一部	(2005.3.3~3.8) 2006.4.17~28, 6.7~15	216	分譲住宅	炉穴10、土坑8、ピット21、溝1、縄文中期片	市内遺跡群3
27	苗間神明後354-2	(2005.12.1~2006.1.22) 2006.1.23~2.23	696	新設道路築造 分譲住宅	住居跡1、炉穴15、埋甕2、土坑117、 ピット127、溝1	市内遺跡群2
28	苗間字東久保719-7, 720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築工事	溝2	市内遺跡群3

## (2) 遺構と遺物

【炉穴】調査区の全域に渡って2~7mの間隔をもって炉穴が点在する。炉穴2・5~10は土坑内に平坦面があり足場部分と思われる。出土遺物から遺構の時期は縄文時代早期。

【土坑】調査区の全域に渡り2~7mの間隔をもって、円形もしくは楕円形の土坑が点在する。土坑1~7は浅いが立ち上がりはしっかりしている。土坑8は袋状の土坑で土器・礫が多量出土する。出土遺物と覆土から土坑は全て縄文時代の遺構。土坑2は中期初頭、土坑7は前期、土坑4・8は後期。

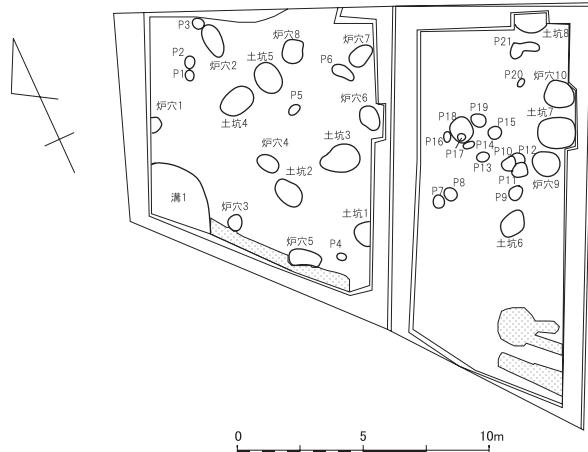
【ピット】調査区東側に集中する。P1~12は出土遺物と覆土から縄文時代、P13~19は覆土から時期が新しく根痕と思われる。

【溝】調査区南西隅に検出した。西から南へ曲がる部分で、溝は西と南に向って調査区外へ延長する。断面形態は幅の狭い「V」字形を呈す。縄文土器が出土するが、覆土から遺構の時期は中世以降。

第31表 淨禪寺跡遺跡第26地点遺構一覧表 (単位cm)

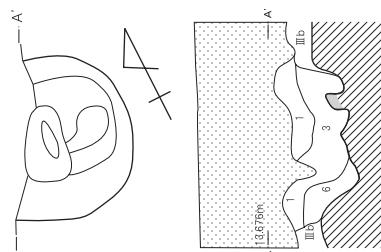
	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
炉穴1		64×	15×4	37	焼土面7cm、調査区外未掘
炉穴2	楕円形	142×72	118×54	20	焼土面60×40cm、足場有り、土器出土・礫多量出土
炉穴3	楕円形	70×48	38×25	9	焼土面42×15cm
炉穴4	楕円形	98×65	61×48	19	焼土面60×48cm
炉穴5	楕円形	133×56	95×20	19	焼土面45×28cm、足場有り、礫出土
炉穴6	楕円形	104×75	93×42	20	焼土面①25×23cm、焼土面②25×21cm、足場有り
炉穴7	楕円形	97×82	70×58	18	焼土面42×40cm、足場有り、土器出土

	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
炉穴8	不整形	95×84	75×60	15	焼土面42×30cm、足場有り、土器出土
炉穴9	楕円形	110×88	72×56	24	焼土面46×40cm、足場有り、土器出土
炉穴10	円形	117×114	84×80	24	焼土面32×23cm、足場有り、土器・礫出土
土坑1		90×	70×	14	調査区外未掘
土坑2	楕円形	116×90	90×62	30	土器・礫出土
土坑3	ヒョウタン	150×114	105×105	26	土器・礫出土
土坑4	楕円形	140×105	104×74	30	底面にピット深さ60cm、土器・礫出土
土坑5	楕円形	124×104	90×74	20	土器・礫出土
土坑6	楕円形	112×80	88×58	30	土器・礫出土
土坑7	楕円形	145×125	125×103	48	土器・礫出土
土坑8		124×	114×	52	調査区外未掘・土器多量出土・礫出土
P1	楕円形	42×35	20×15	29	
P2	円形	52×48	40×24	14	
P3	円形	47×40	25×24	21	
P4	楕円形	45×38	18×15	20	
P5	楕円形	42×36	24×15	28	片岩出土
P6	楕円形	82×44	20×16	32	土器出土
P7	楕円形	37×32	17×14	42	
P8	円形	53×52	39×35	16	磨石出土
P9	円形	56×55	28×24	45	
P10	楕円形	55×45	45×35	16	P11、P12と重複 P11より新
P11	楕円形	46×40	36×30	13	P10、P12と重複 P10より古、土器・磨石出土
P12	楕円形	46×42	12×7	26	P10、P11と重複、土器出土
P13	楕円形	40×32	24×16	25	根痕
P14	楕円形	52×36	31×25	27	根痕、土器出土
P15	円形	52×48	24×18	29	根痕
P16	円形	36×32	20×16	50	根痕
P17	円形	34×32	6×6	74	根痕
P18	楕円形	90×80	76×64	24	根痕、土器出土
P19	円形	62×60	32×32	28	根痕、土器出土
P20	楕円形	32×26	10×6	19	
P21	円形	20×18	4×4	28	
溝1	V字形	~	35~65	208	L字形に屈曲する

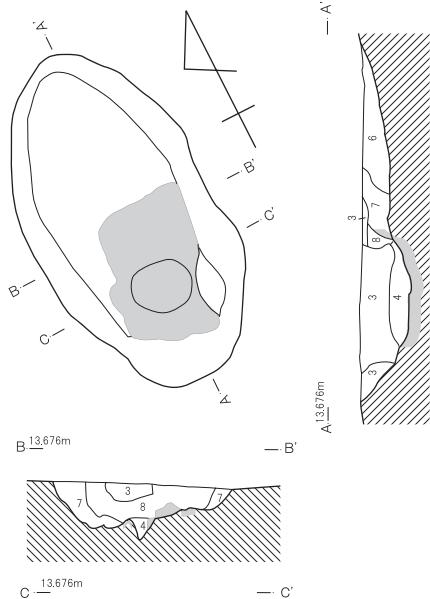


第62図 淨禪寺跡遺跡第26地点遺構配置図 (1 / 300)

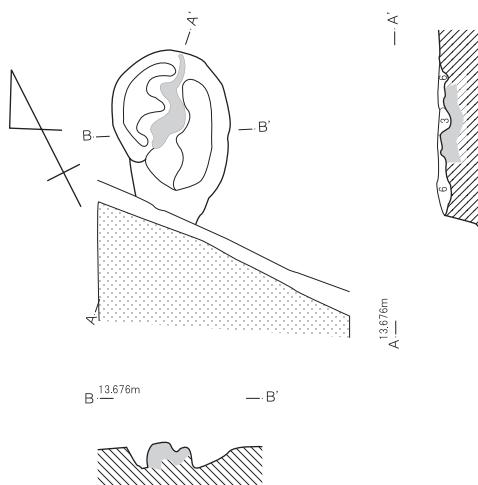
炉穴1



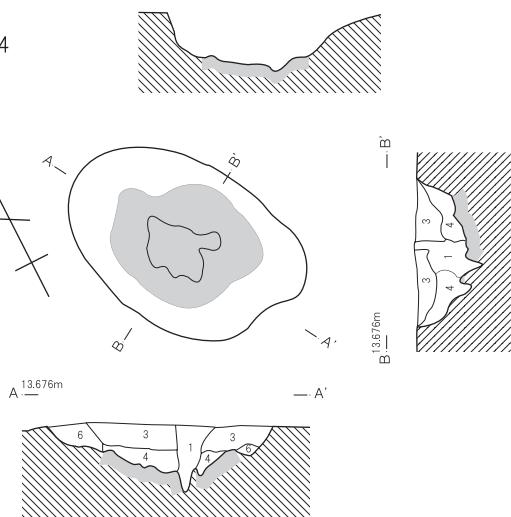
炉穴2



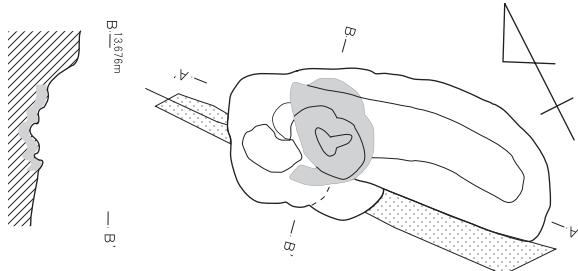
炉穴3



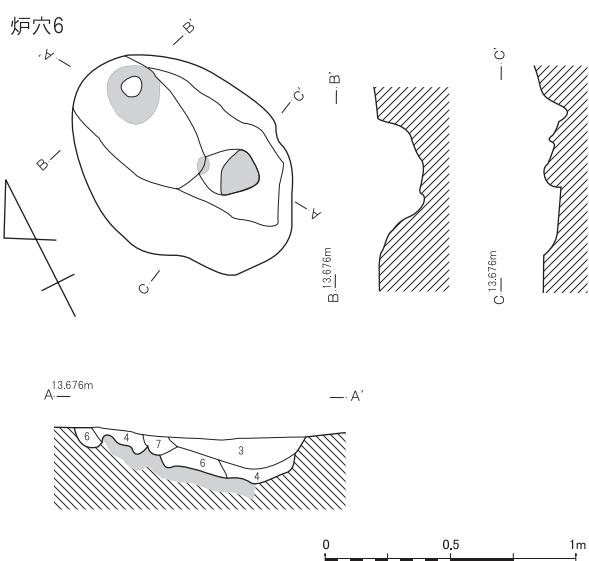
炉穴4



炉穴5



炉穴6



炉穴1~7

1. 暗褐色土 繰り強、粘性有、シミ状に黒褐色土を含み、色調暗い、ローム粒（3mm以下）・焼土やや多量
2. 赤褐色土 繰り有、粘性やや弱、炉穴5にある層、根カクランによるものか、繰りが悪い、細かな焼土分（1mm以下）多量、赤味が有る
3. 暗褐色土 繰り強、粘性有、焼土（5mm以下）やや多量、ローム粒（2mm以下）少量
4. 赤褐色土 繰り有、粘性やや弱、焼土（5mm以下）多量
5. 暗褐色土 繰り強、粘性有、焼土粒・ローム粒（5mm以下）少量、繰りがよい
6. 暗褐色土 繰り強、粘性有、シミ状にローム土を含む、焼土（2mm以下）少量、色調は地山に似て明るい
7. 暗褐色土 繰り強、粘性有、6層に似るがシミ状のローム土が少なく、色調暗い、焼土・ローム粒（2mm以下）少量、
8. 暗褐色土 繰り強、粘性有、炉穴2にある層、炉穴火床部壁際の土、焼土塊（1.5mm大）上部までやや多量、焼土（2mm以下）多量、礫、土器片含む

第63図 净禅寺跡遺跡第26地点炉穴1~6 (1/30)

0 0.5 1m

## 【炉穴出土土器】(第70図1~5)

1と2は2号炉穴出土で胎土には植物纖維を含む。3は7号炉穴出土で素撚り縄文。4は8号炉穴出土で撚糸文。5は9号炉穴出土で共に素撚りの縄文。他の炉穴から遺物は出土しなかった。

## 【土坑出土土器】(第70図6~39)

6~10は2号土坑出土。6は撚糸文、7~9は結節縄文をもつ五領ヶ台式。10は細縄文押圧の口縁部。11~13は3号土坑出土。11と12は胎土に纖維を含む。14は4号土坑出土で縄文のみ。15は4号土坑出土の深

鉢の把手で貫通する円孔と沈線が表裏ともに著しい。

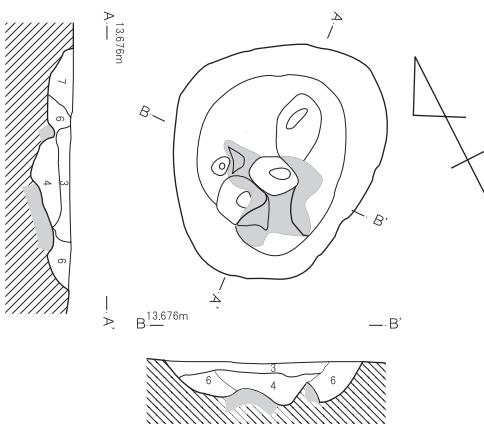
16は5号土坑出土の無文片。17~20は7号土坑出土で17と18は胎土に纖維を多量含む。

21~39は8号土坑出土で弧状磨消内に刺突文を入れる類で縄文を欠き称名寺2式である。33は口縁下に8字状貼付文をもつ大深鉢。34~36は口唇に沈線文と刺突文をもつ浅鉢。38は無文浅鉢口縁部。37は浅鉢の胴部片。39はチャート製楔型石器。

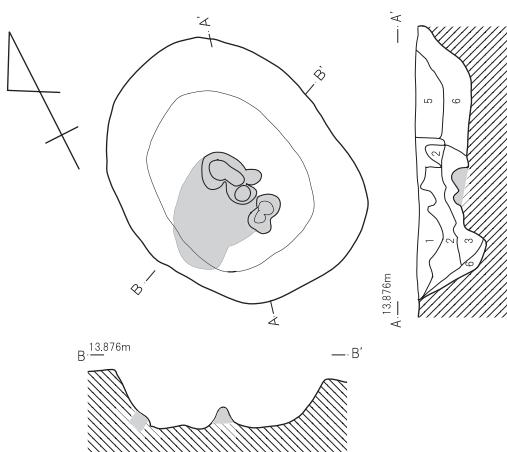
## 【ピット出土土器】(第70図40~51)

40と41はP6出土でJ字状に地文の細縄文を残す

炉穴7

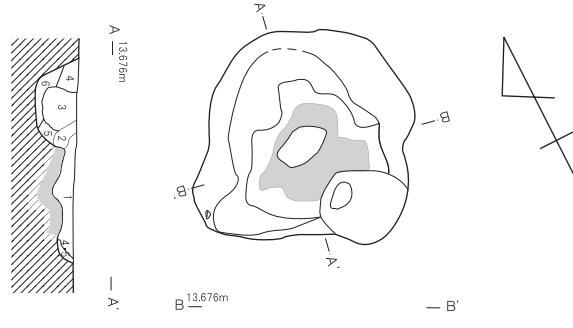


炉穴9

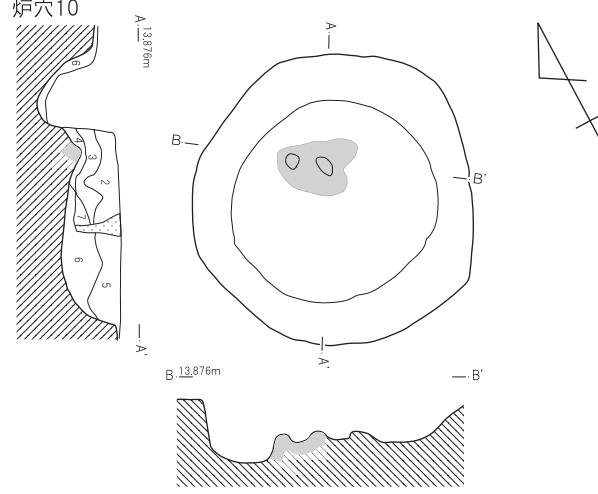


炉穴8

炉穴8



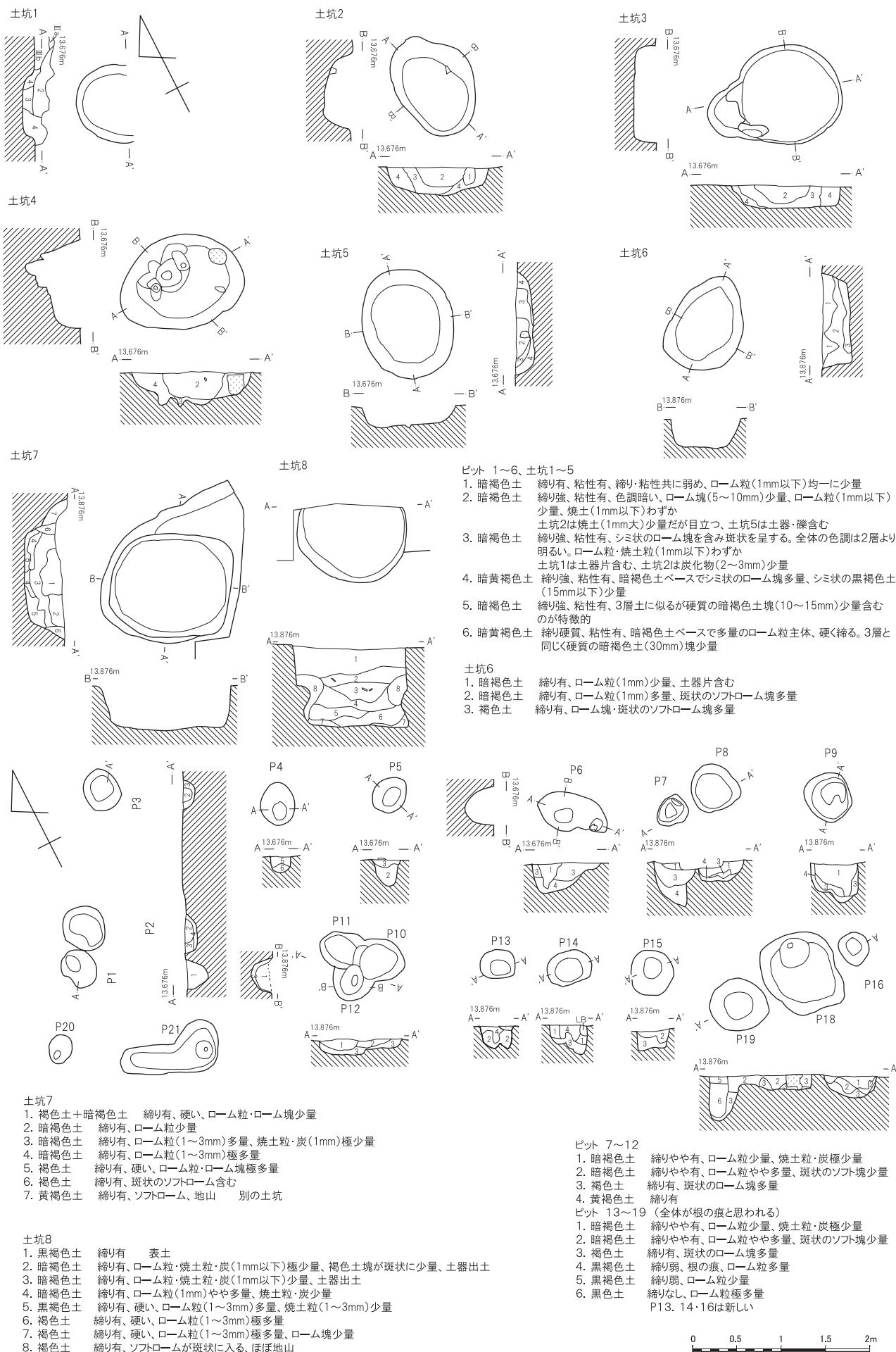
炉穴10



炉穴9~10

1. 黒褐色土 繰り有、粘性やや弱、焼土(5mm以下)多量、乾いたローム粒(2mm以下)少量
  2. 黒褐色土 繰り有、粘性有、焼土(2mm以下)多量、粘性弱め
  3. 暗褐色土 繰り有、粘性有、焼土(3mm以下)少量、ローム粒(3mm以下)多量、炭化物(1mm以下)極少量
  4. 暗褐色土 繰り強、粘性有、シミ状にローム分多く含み、色調明るい、焼土(2mm以下)・炭化物(1mm以下)極少量
  5. 暗褐色土ベース 繰り有、粘性弱、ボソボソした暗褐色土ベースに被熱して黄白色化したローム塊多量
  6. 暗褐色土ベース 繰り強、粘性有、暗褐色土ベースにシミ状のローム塊、焼土(1mm以下)極少量
  7. 暗褐色土 繰り有、6層に焼土粒少量
1. 暗褐色土 繰り有、焼土粒(0.5mm)極少量
  2. 褐色土 繰り有、焼土粒(1~3mm)、やや多量ローム粒(1mm)、少量
  3. 褐色土 繰り弱、焼土粒(1~3mm)極多量、ローム主体
  4. 焼土塊
  5. 褐色土 繰り有、ソフトロームが斑状に少量(ピット土層の2層と同じ)
  6. 褐色土 繰り有、ソフトロームが斑状に多量、ローム塊少量(ピット土層の3層)
  7. 褐色土 繰り有、6層に焼土粒少量

第64図 清禅寺跡遺跡第26地点炉穴7~10 (1/30)



第65図 浄禪寺跡遺跡第26地点土坑・ピット（1/60）

名寺I式のもの。42はP8出土で安山岩製の磨石で半ばを欠失する。43~46はP11出土でいずれも胎土に植物纖維を含み、43と44は条痕文、45は斜縄文をもつ。P11は早期後半又は末といえる。46は安山岩製磨石の半欠品。47はP12出土の無文片。48~50はP18出土で纖維を含む土器と結節縄文をもつ。51はP19出土で隆帶上に刻目をもつ。

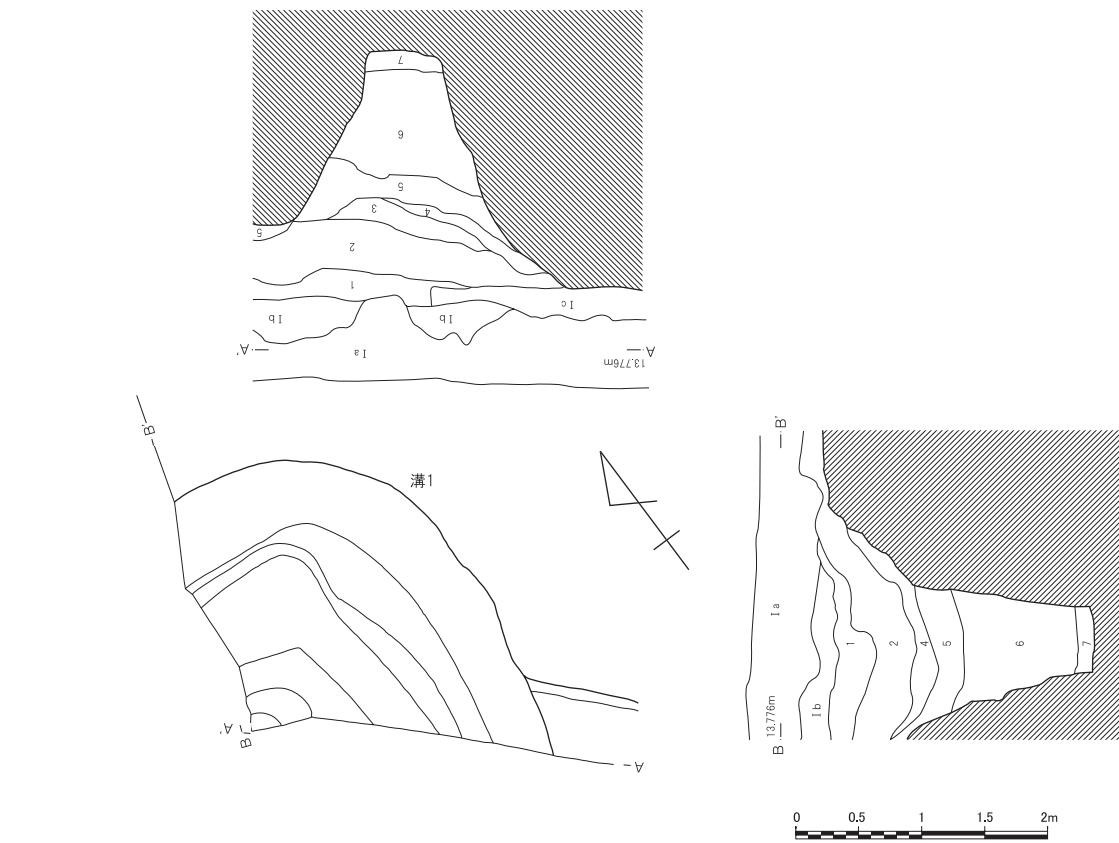
#### 【溝1出土土器】(第70図52~60)

52は押引と刺突著しく赤褐色を呈す。53は沈線で波状文を作り、54は胎土に金雲母と石英を含む。55と56は地文縄文。57は磨消懸垂文をもつ加曾利EⅡ式。

58は条線文のみの胴部片。59は無文口縁で地文条線の小片。60は緑泥片岩製の板碑破片。鉄滓片も出土した。

#### 【遺構外の土器】(第70図1~27)

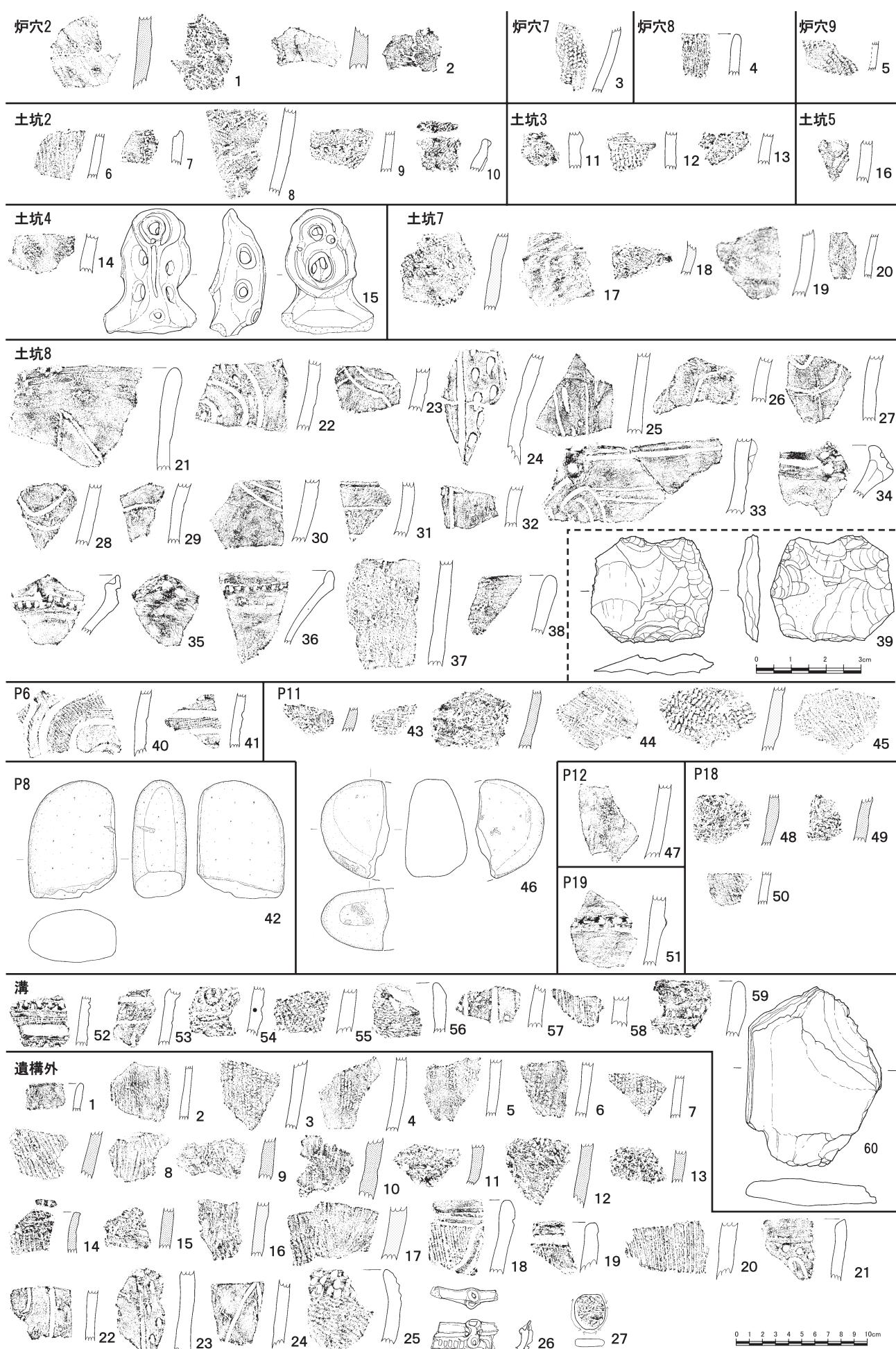
1~7は撲糸文土器、8~17は胎土に植物纖維を多く含み、8は表裏条痕、12と13は植物纖維圧痕、14と15は同一個体。8~17は早期後半~末葉だが細分困難。18~20は地文条線の土器群で18は連弧文で加曾利EⅡ末併行。21~24は磨消部を刺突する称名寺Ⅱ式。25は列点文の他は地文縄文のみ。26は浅鉢の口縁部で8字状隆帯を貼付ける薄手で堀之内式。27は側面調整の著しい土製円板。



溝1

- I a. 黒褐色土 繰り有、粘性やや弱、ローム粒(2mm以下)・ローム塊(5~10mm)均一にやや多量、焼土(2mm以下)わずか
- I b. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、色調暗め、ローム粒(2mm以下)少量、ローム塊(5~10mm)わずか
- I c. 黒褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、ローム塊(5~10mm)均一に少量、ローム粒(5mm以下)少量、耕作痕
- 1. 暗褐色土 繰り強、粘性やや弱、ローム粒(2mm以下)多量、硬質の黒褐色土塊(5mm以下)少量、ベースの土は色調が暗いものと明るいものが混ざり合い、うすらと斑状を呈す。  
円礫(10~15mm大)わずか
- 2. 黒褐色土 繰り有、粘性やや弱、ローム塊(5~15mm)少量、ローム粒(3mm以下)均一にやや多量、硬質の黒褐色土塊少量、
- 3. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、2~4層の土の中間的な色調、暗褐色土に黒褐色土がしみこんだ様に含まれる。ローム塊(5~10mm)わずか、ローム粒(2mm以下)やや多量、  
円礫(10~20mm)わずか
- 4. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、ローム粒(5mm以下)多量含み色調は明るい、黒色土粒(3mm以下)わずか
- 5. 暗褐色土ベース 繰り有、粘性やや弱、暗褐色土ベースでローム粒主体、ローム塊(10~20mm)やや多量、黒色土粒(3mm以下)わずか
- 6. 暗褐色土ベース 繰り有、粘性弱、ローム粒(粗粒5mm大)主体、ローム塊(最大25cm大のものまで)多量
- 7. 黒褐色土 繰り有、粘性弱、灰色味のある黒褐色土、ローム塊(5~20mm)やや多量

第66図 淨禪寺跡遺跡第26地点溝 (1/60)



第67図 净禅寺跡遺跡第26地点炉穴・土坑・ピット・溝・遺構外出土遺物 (1/4・2/3)



神明後遺跡第28地点試掘調査



神明後遺跡第29地点試掘調査全景



神明後遺跡第29地点溝 1



神明後遺跡第30地点トレンチ 4



淨禪寺遺跡第26地点本調査全景西側



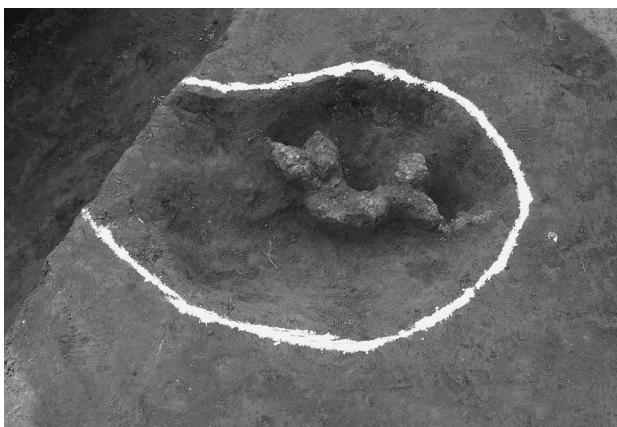
淨禪寺跡遺跡第26地点本調査全景東側



淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 1



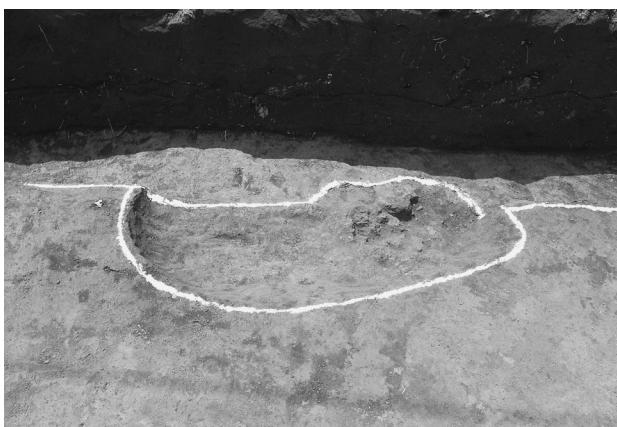
淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 2



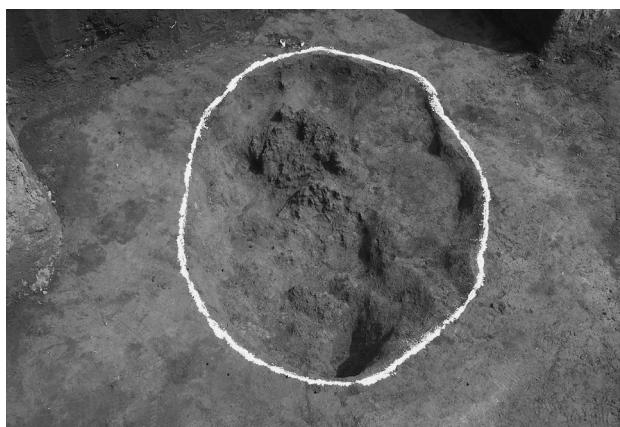
淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 3



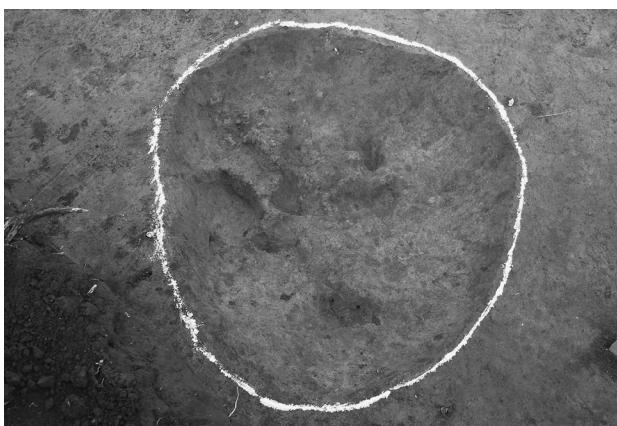
淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 4



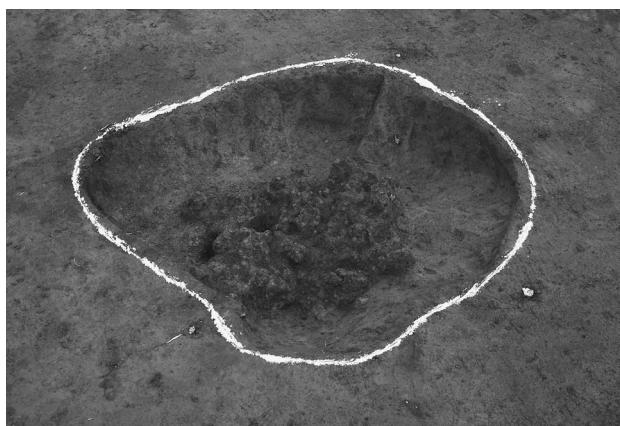
淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 5



淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 6



淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 7



淨禪寺跡遺跡第26地点炉穴 8



净禅寺跡遺跡第26地点炉穴 9



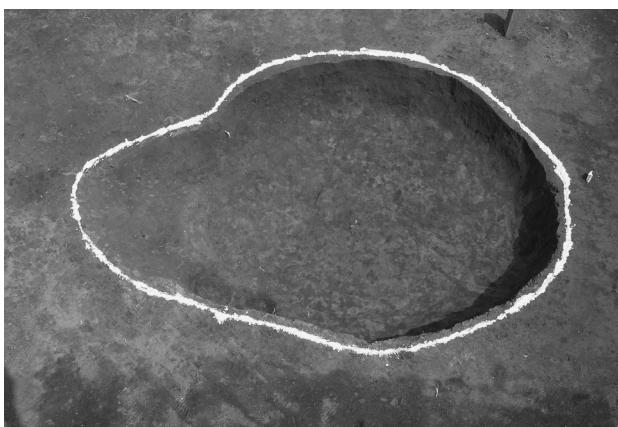
净禅寺跡遺跡第26地点炉穴 10



净禅寺跡遺跡第26地点土坑 1



净禅寺跡遺跡第26地点土坑 2



净禅寺跡遺跡第26地点土坑 3



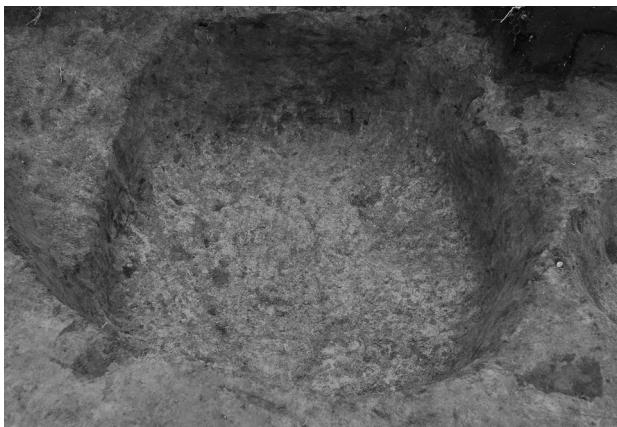
净禅寺跡遺跡第26地点土坑 4



净禅寺跡遺跡第26地点土坑 5



净禅寺跡遺跡第26地点土坑 6



淨禪寺跡遺跡第26地点土坑 7



淨禪寺跡遺跡第26地点土坑 8



淨禪寺跡遺跡第26地点溝 1



淨禪寺跡遺跡第26地点溝 1



淨禪寺跡遺跡第28地点試掘調査トレンチ



淨禪寺跡遺跡第28地点溝 1



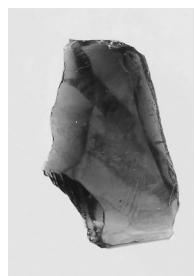
大井宿遺跡第12地点試掘調査



大井宿遺跡第13地点本調査



江川東遺跡第11地点出土石器



江川東遺跡第11地点  
出土石器裏

東中学校西遺跡第29地点



西ノ原136地点



西ノ原137地点

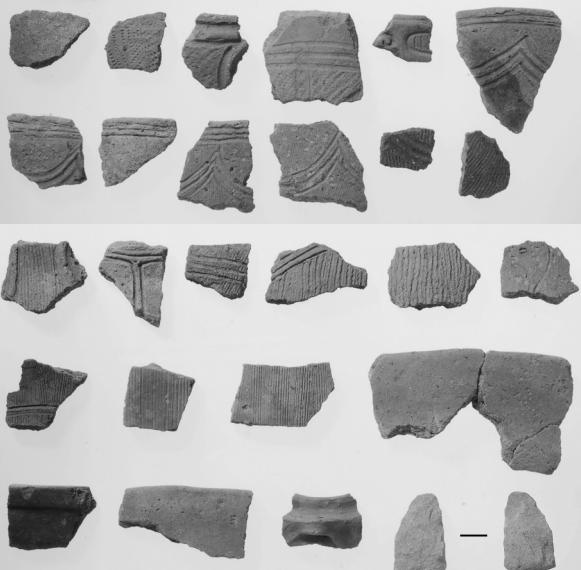


東中西遺跡第29地点・西ノ原遺跡136・137地点出土遺物

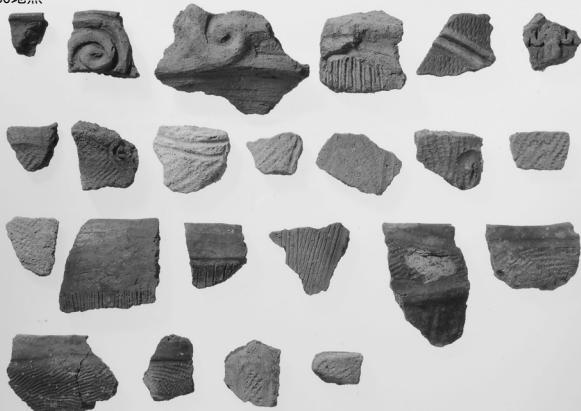
29地点溝



29・30地点試掘



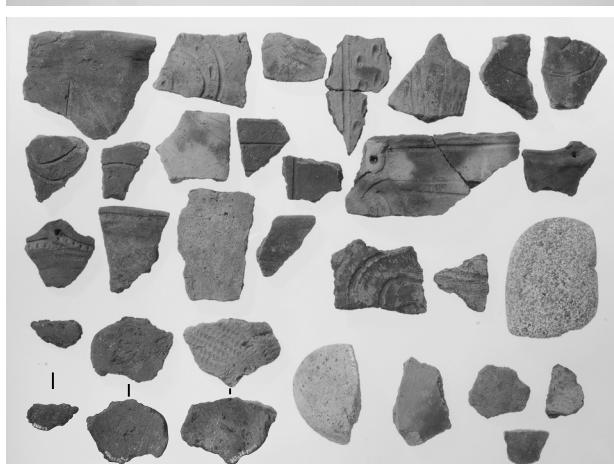
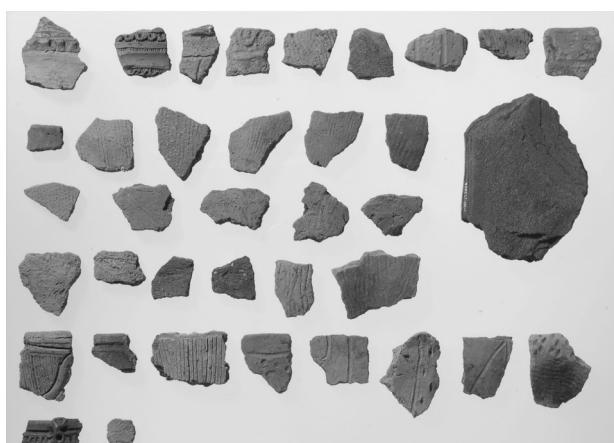
30地点



神明後遺跡第29・30地点 出土遺物



駒林遺跡第3地点 出土遺物



淨禪寺遺跡第26地点 出土遺物